

中部の工作機械産業

市場に攻勢をかける

研究開発や新製品投入を加速



C-IMEに出展したオークマ

研究開発費を増やし、工作機械の低価格化を推進する姿勢を見せるのはジェイテクトだ。5月に策定した中期経営計画の中で、13年度実績3・2%の売上高研究開発比率を18年度には4・0%に引き上げる目標を立てた。13年度の研究開発費は自動車部品、軸受事業と合わせて403億円だが、50億〜40億円ぐらいは増やさないといけない」と安形哲夫ジェイテクト社長は話す。

安形社長は他社製に比べて割高とされる汎用切削機や汎用マシニングセンター(MC)について、設計プロセスの標準化などを進めて、高コスト構造に切り込む構え。これにより生産コスト、販売価格とも現状から2〜3割下げることが目指している。

一方、「日本でつくって世界に勝つ」を経営の

テーマにするオークマは海外展開を加速する。13年にリニューアルした新本社工場「DS1」を稼働させ、「日本でつくる」基盤を固めた同社は、「世界に勝つ」に向かってまい進している。

特に工作機械の大手市場となった中国では大規模展示会に相次いで出展し、ブランド浸透に力を注いでいる。2月24日から28日まで上海市で開かれた「中国CNC工作機械展覧会(CCMT)」には、大型の門形MCなど高級機種を展示した。同展示会は中国では屈指の規模を誇る展示会ものの、日本では注目度が低く、日本企業の出展は少ない。それでも、新興国でのブランド力向上が「世界に勝つ」ための条件ととらえるオークマは参加に踏み切り、13万人が来場する展示会でPRにつとめた。

世界中で積極展開 より一層高まる存在感

花本義廣オークマ社長は「高付加価値製品の市場が活発になってきた。ブランドの浸透を急ぎ、近い将来に10%を目指す」と中国攻めに意欲を燃やす。

新製品の投入に意欲的なのはヤマザキマザック。特にレーザ加工機は4月にファイバーレーザー加工機の新型機「オブティプレックス3015 ファイバーII」、6月に長尺のパイプ材を連続加工するレーザ加工機「チューブギア150」を発売する。オークマは6月12〜13日に

美濃加茂製作所(岐阜県美濃加茂市)などで「レーザフェア2014」を開き、レーザ加工機の製品群を披露。展示会の目玉となったチューブギア150がパイプ材が連続加工される様に来場者は見入った。

来場者は当初600人の予定が800人に膨れあがり、市場の盛り上がりを実感した。「板金加工も付加価値が求められてきた。鋼材屋さんがレーザ加工で付加価値を付けた鋼材を納めるケースもある」とマザック関係者は語る。今後、板金市場は製造業だけでなく、東京五輪を見据えたインフラ整備需要の後押しも見込めるだけに期待が膨らむ。

足元の環境が好調な中、先行きも明るい中部の工作機械業界。メーカーの積極姿勢は当面続きそうだ。

(次ページへ続く)



ヤマザキマザックのレーザファ

内燃機部品の「機械加工から精密洗浄まで」連係対応

SUGINO

例えば、シリンダヘッドなどの製造工程間ロスが節減できます。

#30 マシニングセンタ Self-Center™ H15-LX

- 類まれなる高剛性 … #30ながら#40クラスの剛性
- 必要十分な加工エリア … 4気筒シリンダヘッドに対応したロングストローク
- 省エネ & 省スペース … 消費電力・設置面積を低減したエコマシン
- 高速マシニング加工 … 高剛性ボディと軽量な移動体のコンビネーション

CNCタレット形 水中洗浄機 Jet Clean Center™ U-Jet

- 確実バリ除去 … CNC制御により深穴内もピンポイントでバリ取り
さらに6種類ノズルと最適パス制御で高効率・多用途対応
- 徹底切りくず除去 … ウォータージャケット部などの残留切りくずも隅々まで除去
- 効果的キャビテーション … 最適制御された強力水中衝撃波動で威力洗浄